

【ユーザーの視点に従って正確にレンダリングされる 3D 仮想世界の没入型シミュレーター】 Disney

① 要約：

ディズニーリサーチはテクノロジーの研究を行い、その成果をテーマパークや映像コンテンツにフィードバックしています。特に VR 関連技術に注力しており、手間のかかるヘッドマウントディスプレイやゴーグルを使わずに没入型の拡張現実体験を提供する発明を持っています。

② 目的：

ディズニーリサーチの目的は、自動運転車や掃除ロボットにも使われるスキャン技術を活用して現実空間のオブジェクトをマッピングし、ユーザーの視線や動きをトラッキングし、その位置に立体的なプログラムを投影することで、没入型の拡張現実体験を実現することです。これにより、テーマパークや乗り物などのアトラクションにおいて、実物のキャラクターやホログラムを見ている場所に適切に表示するサービスを提供し、お客さんに新たな体験とエンターテイメントを提供することを目指しています。

③ 新規性：

ディズニーの発明は、ヘッドマウントディスプレイやゴーグルを使わずに没入型の拡張現実体験を提供することに特化している点が新規性を持っています。スキャン技術と視線トラッキング技術を組み合わせ、ユーザーが見ている場所に立体的なプログラムをプロジェクションマッピングすることで、リアルな体験を実現しています。

④ 独自性：

ディズニーリサーチはディズニーの独自の技術を活用しており、ディズニーパークや映画作品の世界観に合わせたエンターテイメント体験を提供しています。ディズニーのキャラクターやストーリーを活用することで、他の企業やテーマパークとの差別化を図っています。

⑤ 経済価値：

ディズニーリサーチの技術はテーマパークや映画産業において大きな経済価値を持っています。没入型の拡張現実体験を提供することで、お客さんにより一層のエンターテイメントや感動を提供し、来場者数の増加や顧客満足度の向上に貢献することが期待されます。また、ディズニーの独自性やブランド価値を高めることにもつながり、競争力の強化や収益増加につながる可能性があります。